

自民党の赤枝恒雄衆院議員（比例東京ブロック）が12日に開かれた子どもの貧困対策を推進する超党派議員連盟の会合で「親に言われて仕方なく進学しても、女の子はキャバクラに行く」などと発言していたことが分かりました。進学のため支援拡充を求める

「進学しても女子はキャバクラに行く」

自民・赤枝氏が暴言

関係団体などの質疑応答の中で述べたもので、女子差別と受け取られかねない発言です。

これについて、日本共産党の穀田恵二国対委員長は「議論に値しない暴論だ」と一蹴し「自民党から次つぎと暴論が出てきている」と批判しました。